導入事例

シリアルデバイスサーバを使用して近代的な ICU ケアシステムを実現

導入業界

医療：ICU

導入目的

ICUケアシステムの構築

ICU（Intensive Care Units＝集中治療室）は、患者からの重要なデータを収集するために多くのメディカルデバイス（ポンプ、モニタ、人工呼吸器など）を利用します。現在、世界の ICU は、医師および看護師が、患者のすべての状態をより容易に監視し、可能な限り迅速に、生命を脅かす状況に対処できる近代的なネットワーキング技術を使用して患者のデータを中央コンピュータに伝送します。また、多くの病院では、従来の紙チャートベースの心電図に代わる EMR（Electronic Medical Records＝電子心電図）を患者に装着して、常に患者の状態を把握するなど病院のすべての作業効率を向上しています。

導入の狙い

- **従来の紙ベースの心電図を EMR にリプレース**
- **シリアルベースの複数のメディカルデバイスを集中的に接続**
- **ナースステーションおよび HIS（病院情報システム）へリアルタイムに患者データを伝送**

導入製品

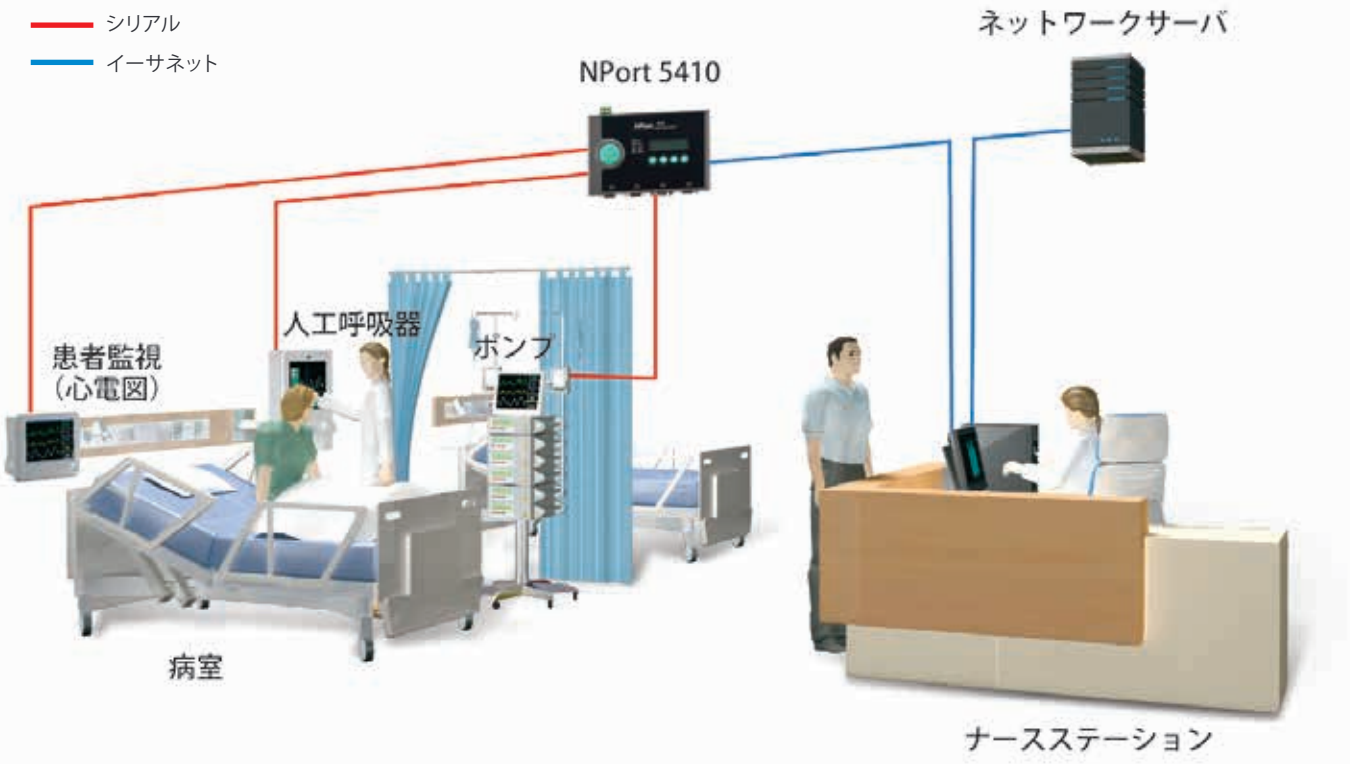
NPort 5410

4ポートRS-232Cシリアルデバイスサーバ

導入効果

- **信頼性の高いリアルタイムでのデータ伝送**
- **LCM ヒューマンマシンインターフェースを搭載しているのでオンサイト設定が容易**
- **設置が容易なコンパクトサイズ**
- **メディカル EN 60601-1-2 および EN 55011 認証取得**

システム構成図



導入製品の仕様

NPort 5410		
メカニカル	筐体	SECCシートメタル (1mm)、IP30保護等級
	サイズ	158 × 103 × 33 mm (取付金具なし) 181 × 103 × 33 mm (取付金具付)
	重さ	740 g
電源	入力電圧	12 ～ 48 VDC
	消費電力	350 mA @12 V (最大)
	電源ライン プロテクタ	4 kV バースト (EN61000-4-4 : EFT/B)、 2 kV サージ (EN61000-4-5)
環境	動作温度	0 ～ 55℃
	保管温度	5 ～ 95% RH
	相対湿度	-40 ～ 75℃
信頼性	MTBF (平均故障間隔)	205,153時間

詳細につきましては「IBS Japan」で検索!

IBS Japan 検索

お問い合わせはお気軽に info@ibsjapan.co.jp までお願いいたします。

※ 掲載されているイラスト・画像についての著作権は各社メーカに帰属します。
※ 記事内容(日本語翻訳分)についての著作権はアイ・ビー・エス・ジャパン株式会社に帰属します。
※ 製品内容・製品仕様は、予告なく変更いたします。最新情報については、お問い合わせください。

IBS-201703-Moxa-28

IBS Japan

■ 厚木センター
〒243-0432　神奈川県海老名市中央2-9-50　海老名プライムタワー12F
TEL:046-234-9200　FAX:046-234-7861

■ 東京システムセンター
〒153-0043　東京都目黒区東山1-2-7　第44興和ビル9F
TEL:03-3713-8944　FAX:03-3713-8931

■ 大阪営業所
〒541-0052　大阪府大阪市中央区安土町2-3-13　大阪国際ビルディング31F
TEL:06-4708-6126　FAX:06-4708-6127